

講演題目

# 「簡単、納得の環境保全型果樹栽培技術」

## ～徹底的に間引き、切り上げる剪定で樹はようになるか？～

「美味しくなる」「収量が増加する」「肥料や農薬の使用量が減らせる」、そして「無肥料・無農薬栽培も可能になる」などの効果が話題になり、最近注目されている、道法正徳氏開発の徹底的な間引き・切り上げによる剪定技術。さらに、この技術には、理論がシンプルで誰にでも実践でき、剪定時間を大幅に短縮できる、という嬉しい特徴があります。

しかし、徒長枝を積極的に残すなど、従来の剪定方法とは逆ともいえる剪定技術に、初めは納得がゆきにくいものです。

本講座では、なぜ徒長枝を積極的に残してうまくいくのか、徹底的に間引き、切り上げる剪定をすると樹は具体的にどのように反応するのか、など、従来の果樹園芸学がまだ見たことのない果樹の性質について、道法正徳氏が、約30年間の経験に基づき、説明してまいります。

【日時】 2017年 **11月17日** **金** 9:30～12:00 (開場9:00)

【会場】 山梨大学甲府西キャンパス Y-31教室 (総合研究棟3階)

【定員】 120名 参加無料 **申込締切 11/15(水)**

### 道法正徳氏プロフィール

農学博士。自然栽培指導者。

(株) グリーングラス代表。1953年広島県生まれ。

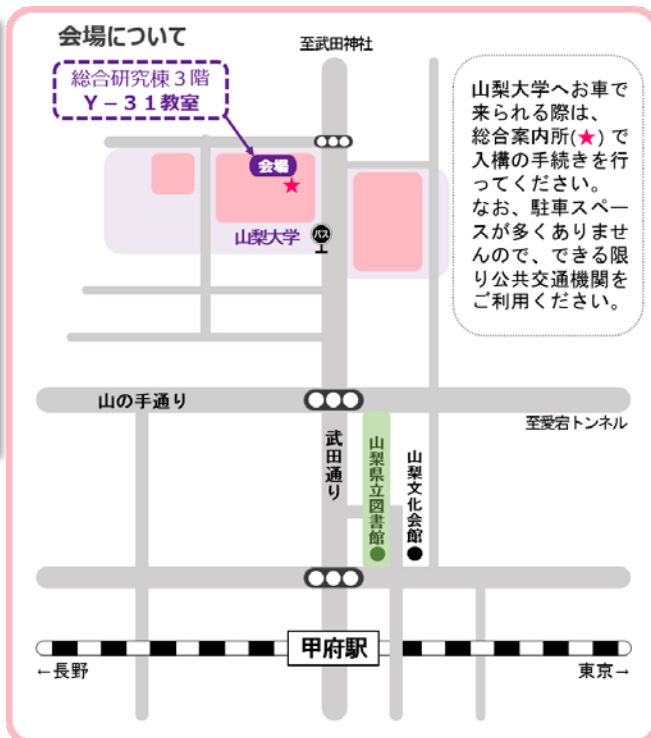
1978年より、広島県果実農業協同組合連合会の果樹の農業技術指導員として、従来通りの栽培方法の指導を行う。しかし、指導する中で様々な問題点に気づき、主に剪定技術に関して、従来の方法の逆をいく技術を開発し、それらの問題を克服する。また、その剪定技術の効果が、植物ホルモンの観点からも説明できることに気づく。

現在、海外を含めた各地で技術講習・指導を行っている。

著書『高糖度・連産のミカンづくり』(ペンネーム「川田健次」を使用)

参加申込み

氏名	
住所	
TEL	
E-Mail	



参加をご希望の方は、上記に必要事項をご記入のうえ、11月15日(水)までにFAXまたはメールにてお申し込み下さい。締切日を過ぎても申込みを受け付けますが、定員に達し次第、締め切ります。

FAX : **055-220-8702** メール : [coc-event@yamanashi.ac.jp](mailto:coc-event@yamanashi.ac.jp)

※メールの場合は、タイトルを「11月17日 公開講演会申込み」としてください。

